



華やかに朝日のかかる野菊かな

長野県松本市の鈴木鎮一先生の下へ私が伺ったのは、1979年の秋のことでした。北アルプスの峰々と美ヶ原高原に囲まれた小さな美しい街で、研究生としての下宿生活が始まりました。鈴木先生のもとでバイオリンのレッスンを毎週一回受け、グループレッスン、マンデーコンサート、音楽表現法から書道や英語などのカリキュラムをこなし、学んでいきました。鈴木先生の全てを許し諭すような温かな雰囲気にも包まれながらも、しかし、先生の目の奥には常に厳しさがあり、己の成長のために貪欲にならざるを得ない環境がそこにはありました。松本では研究生として音楽院に通う日々の生活の中から自然との調和を学び、より美しいものを、より本物であることを、より気遣いができるように、とアンテナをはることの重要性を教えてくださいました。鈴木先生の指導の極意はそこにあったと理解したのは指導者になってからです。相手は何を必要としているのか、調和することの大切さ、そういったことを感じる能力を先生によって根気強く開発していただいたのでした。

あれから40年経ちました。
最初の生徒は、ドイツ人の女の子でした。。。
帰国して初めて受け持った教室で、私は若き指導者として夢と理想だけは大きく、生徒とお母さま方に色々とお教えをもらい、助けて頂きました。
お陰様で、スズキメソッドの才能教育研究会の指導者として、迷い、悩みながらも、恩師の藤田先生、牧野先生はじめ、諸先生諸先輩の教えを胸に、歩みをとめることなく指導をしてまいりました。
新しい分野の音育☆マタニティ♪0～3歳児コースも研究開発し、今に至ります。

人生の節目、節目で、何度も挫けそうになりました。
その度に、私を奮い起こしてくれたものは、生徒であるあなた方の愛らしさと、子どもたちの成長する姿と、それを見守るお母さま、お父さまの真剣な眼差しでした。
今日の演奏会も、コロナ禍でも、いやこういう時だからこそ、音楽を通しての交わりやふれあいを何よりも大切にしたい、という私の思いを皆さまに理解していただき、開催の運びとなりました。
あらためてご協力に心より感謝いたします。

平和な世界は教育からはじまり、そして音楽は世界を救います。
次世代を担う子ども達へ！
夢を持って、これからも歩みを止めることなく、心を伝えてまいりたいと思っております。

2021年10月 松井やすよ